


平成30年4月23日

羽生市議会議員 松本敏夫 様

羽生市議会 公明党 野中一城 

### 行政視察報告書

行政視察を下記のとおり実施したので報告いたします。

1. 視察項目
  - (1) 池田市の発達支援システム推進事業について
  - (2) 高槻市の子ども未来部事業について
  - (3) 富士市道の駅富士川楽座・防災拠点事業について
  
2. 視察日程 平成29年11月7日(火)～9日(木)
  
3. 視察概要
  - (1) 視察先：大阪府池田市  
視察項目：池田市の発達支援システム推進事業について
    - ・いけだつながりシートの配布について
    - ・池田市発達支援 Map の配布について
    - ・かおテレビについて
  - (2) 視察先：大阪府高槻市  
視察項目：高槻市の子ども未来部事業について
    - ・高槻市立臨時保育室について
    - ・高槻市保育士・保育所支援センターについて
  - (3) 視察先：静岡県富士市  
視察項目：富士市道の駅富士川楽座・防災拠点事業について
    - ・道の駅富士川楽座の運営について
    - ・道の駅富士川楽座防災拠点について

## 羽生市・行田市議会公明党議員団行政視察報告書

視察日	平成29年11月7日(火)～9日(木)
視察市	1 大阪府池田市 人口103,348人 2 大阪府高槻市 人口353,617人 3 静岡県富士市 人口255,000人
視察事項	○池田市 発達支援課における子育て支援事業 ○高槻市 多様な保育ニーズへの対応 ○富士市 道の駅富士川楽座の施設概要、運営、防災拠点

平成29年11月7日(火) 大阪府池田市の行政視察について

### 取り組み内容

池田市の発達支援システム推進事業

#### ① いけだつながりシートの配布について

○いけだつながりシートは、母子手帳の延長版として使える成長、発達の記録ファイルです。乳幼児健診や、園、学校、受診医療機関などが記入できる「フェイスシート」と運動、コミュニケーション、生活に関することなどが記入できる「現在の様子」の2部構成になっています。

ご本人やご家族と保健・医療・福祉・教育・就労などの担当者が、成長・発達に関する情報を共有し生涯にわたって継続的で、よりご本人のニーズに沿った支援が可能となり、安心して生活できるようにするためのシートとしての役割も果たすことができます。

#### ② 池田市発達支援Mapの配布について

○子育てで困ったときやお子さんの発達について心配な時、利用できる施設・サービスが分からないときなどに、どこに相談したらいいのか分かりやすくまとめた「池田市発達支援Map」を市役所などで配布しています。

子育て、医療など10分野別に、簡単な内容と連絡先をチャート図とリンクさせた色使いで紹介しています。

#### ③ かおテレビについて

○社会性の発達の評価は経験豊富な医師でも難しいことがあります。そこで、大阪大学、金沢大学はじめ5大学連合小児発達学研究科で、客観的に把握するための機械「かおテレビ」が開発されました。これまでに複数の自治体で1000人以上の1、2歳児に「かおテレビ」を体験いただいた結果、この機械が社会性の発達をよく反映するものであることが分かってきたそうです。ただし、「かおテレビ」の結果のみで社会性の発達の程度について確定的なことは言えないそうですが、「かおテレビ」を通して子どもの興味関心の一端をその場ですぐ知ることができます。特に小さな子どもの場合、自分が強く興味を惹かれるものを言葉で他者に伝えるのは難しいですが、「かおテレビ」を通して、子どもが「どんなふうに物を見ているのか」「何に関心あるのか」を知ること、保護者が子どもの発

達の理解する手助けにさせていただくことが期待できます。

#### 所見

羽生市としても、市における発達支援の現状分析や課題の抽出を行うとともに、発達、子育て支援にかかわる県の関係機関や地域の福祉団体等と連携し今日まで切れ目ない支援を行って来られています。

今後、更なる強化を考えて羽生市で導入されていない「かおテレビ」事業の推進を考えます。

より早く小さな子ども達の社会性の発達の早期発見につながることで本人の本来持つすばらしい力や才能が良い方向に早く発見出来る機能を持つ「かおテレビ」の機械導入の検討を考えます。

平成29年11月8日（水）大阪府高槻市の行政視察について

#### 取り組み内容

高槻市の子ども未来部事業について

##### ① 高槻市立臨時保育室について

◎高槻市では、認可保育所入所希望で、保育の必要性の高いにもかかわらず入所できない児童に限り、概ね当該年度の年度末まで臨時的に入所することができる「高槻市臨時保育室」開設。

高槻市の臨時保育室の開設は、旧法務局の土地・建物を購入し施設改修工事を行い用地取得費3億4,925万円、工事請負費8,131万3200円の予算を掛けまして平成26年12月に開設しました。対象年齢は、0歳児～5歳児、定員50名、開室時間午前7時～午後7時（午後6時から延長保育）利用期限入室年度の3月31日までなど臨時保育室の利用内容等となっています。

臨時保育室の特徴として「月3回の入室日設定基本的な日（1日、11日、21日）」

\* 年度途中の保育需要に柔軟に対応していくため、入室日を月3回設けている。

「年齢別定員を設定していない」

\* 年度途中の保育事業に柔軟に対応していくため、年齢別の定員を設けず、定員までの児童を受け入れている。

「人材派遣の活用」

\* 年度末に向けて入室児童数が増えていく特性があるなか、効率的に経営するため、人材派遣を活用している。

運営上の課題として「保育士の確保」

\* 近年の全国的な保育士不足により、人材派遣会社に派遣要請をしても保育士の確保が困難な状況が続いている。

「保育の難しさ」

\* 10日ごとに入室日があるため、子供が落ち着きにくい。また、年齢別の定員を設けていないため通常の保育所のようにクラスの設定ができない。

## ②高槻市保育士・保育所支援センターについて

◎高槻市では、保育所人材の安定的な確保を図り、本市における安全な保育の継続をめざすため、保育士資格を持ちながらも現在保育現場で働いていない「潜在保育士」など現場復帰を支援する「高槻市保育士・保育所支援センター事業」を始めました。

平成26年5月大阪労働局に地方公共団体無料職業紹介事業の届出をして高槻市子ども未来部保育幼稚園総務課内設置し事業を開始しました。

事業内容は、市内の保育所等に就職を希望する方（保育士、給食調理員、栄養士、看護師）等に復職を支援するための事業です。

保育士・保育所支援センターの特徴は、「保育士等再就職支援コーディネーターによるマッチング」。

\* 経験豊富な元公立保育所長の保育士等再就職支援コーディネーターが求職者の就職をサポート。ハローワークでは、出来ないきめ細かなフォローを実施しています。

- 求職者のニーズにあった就職先の提案
- 求職者と雇用者双方のニーズ調整
- 市内保育所等に対する潜在保育士等の活用に関する助言
- 市内保育所等に勤務する保育士等や保育士資格の取得希望者からの相談など  
運営上の課題「潜在保育士の発掘」

\* 積極的に就職を希望している保育士だけではなく、資格を持っているが離職してからの期間が長い、未経験者などの潜在保育士をいかに発掘していくかが課題である。接触の機会を増やすために商業施設での出張相談会を増やし、復職に役立つセミナー等を充実させていく必要がある。

「保育士」以外の人材不足への対応

\* 保育士以外の専門職、看護師、准看護師の需要が増加している。これからの人材確保に向けた方法を検討していく必要がある。

「保育士等再就職支援コーディネーター」の人材確保

\* 現在は元公立保育所長がコーディネーターを務めているが、後継者を確認していくことが難しい。

## 所見

高槻市の多様な保育ニーズの対応の取り組みについて、待機児童ゼロを達成するために保育所等の整備をしたが保育士等の人材確保、育成等の課題もあるが、その課題に対して積極的に取り組んでいると感じました。今後、羽生市も保育士等の育成、確保を図る事業として参考にする事があると考えます。

平成29年11月9日（木）静岡県富士市の行政視察について

#### 取り組み内容

富士市道の駅富士川楽座・防災拠点事業について

##### ① 道の駅富士川楽座の運営について

◎富士市道の駅富士川楽座は、平成12年3月に「道の交わりが、人の交流を生み出す」という基本理念のもと開館しました。

富士川楽座を管理・運営する弊社は、開館以来、富士川楽座設置条例にうたわれている

「市民文化の向上、および生涯学習の振興」

「商業の発展、特産品などの地域情報の発信および周辺地域との交流促進」

2つの骨子を基本とした各種事業を展開しながら、会社の健全経営・地域の活性化に務めてまいりました。

「地域の商業振興・農業振興への貢献」

\*直営・テナントの仕入部門で、地元の農産物・海鮮物、富士ブランドを販売・提供することで、地元食材・商品の情報発信に貢献しています。

「就労機会の創出」

\*テナントも含め、当館における就労人員は、通常200名以上が確保されており、地域の雇用拡大に寄与しています。

「道の駅との連携実現」

\*道の駅は、全国で1117駅（平成29年4月時点）が登録されています。地域住民に、販売を通して、全国の特産品の情報提供を行う一方、各地との産品交流の場において、地元食材の提供を行うなど、道の駅の連携を現在も深めています。

##### ②道の駅富士川楽座防災拠点について

「非常用電源・大型モニター設置」

\*静岡県では、富士川楽座はじめ県内12カ所の道の駅に防災拠点化事業が行われています。東日本大震災で道の駅が道路利用者の一時的な避難や応急復旧の活動拠点として役に立ったことから、静岡県では、県管理の道路に隣接する道の駅を防災拠点として整備してきた。具体的には、非常用電源、防災情報や道路の規制情報などを知らせる大型モニター、非常用トイレなどを設置。訓練では、非常用電源や大型モニターの動作状況を確認し仮設トイレの組立などを実施しています。

#### 所見

富士川楽座の運営・防災拠点については、国土交通省・静岡県・富士市・関係団体から協力、賛同を得るなど、民間と行政が一体化を強く感じました。羽生市においても道の駅運営等・防災拠点・防災力に参考になる点があると考えます。

報告者 野中一城